

平成30年度 神戸鈴蘭台高等学校学校評価

4点 3点 2点 1点

A:4.0~3.25, B:3.25~2.5, C:2.5~1.75, D:1.75~1.0

評価の観点	評価項目	4点 3点 2点 1点				計	平均	評価	自己評価及び実践目標	H29評価
		A	B	C	D					
開かれた学校づくり	1 学年通信、保健だより、図書館だより等を定期的に発行し、情報を発信することができた。	22	20	3	1	46	3.37	A	・概ね定期発行し情報発信ができていた。 ・今後継続していく。	A
	2 ホームページ等を適切な時期に更新し、広く情報を発信することができた。	5	30	8	3	46	2.80	B	・多くの担当者が書き込みができるようになり、広く情報発信ができた。 ・見やすいホームページとなるようスタイルを更新した。	B
	3 行事や部活動等を通して、地域社会や地域の中学校等と積極的に交流し、連携を取ることができた。	14	21	10	0	45	3.09	B	・コースの行事等で地域の小・中学生との交流ができた。 また、文化部の活動で地域との交流事業があった。 ・引き続き地域社会、中学校との交流を進めていく。	B
	4 進路、生徒指導、教育相談等、学校の諸課題について校内研修が計画的にできた。	7	23	15	1	46	2.78	B	・各々が企画し研修会を実施することができ、非常に有用な内容であった。 ・行事を整理し、研修の日程を確保する必要がある。	B
学力の定着及び進路保障	5 3年間を見据えて進路指導に関する年間計画を作成し、組織的、継続的に進路指導が実施できた。	9	30	4	1	44	3.07	B	・進路指導部と学年が協力し取り組めた。 ・より生徒の実態に応じた計画を検討する必要がある。	B
	6 アンケートや面談等を通して、生徒の希望や意識を把握し、その内容を進路指導に反映させることができた。	11	28	4	1	44	3.11	B	・学年を中心に生徒の希望を把握し取り組めた。 ・学年と進路指導部の情報共有を更に密にし、面談等の内容を活用していく。	B
	7 進路ガイダンスや進路ホームルーム等の実施を通じて、生徒が具体的な進路目標を持つように指導できた。	16	25	1	2	44	3.25	A	・進路に関するホームルームの充実が図られるとともに、新しい大学入試制度への研究と取り組みが始まった。 ・学校全体の計画を検討する。	B
	8 学力の定着を図るために、予習・復習などの学習習慣を身につけさせることができた。	7	29	8	1	45	2.93	B	・学年中心に習慣化に向けて取り組んでいるが、学習習慣の確立の難しい生徒もいる。 ・引き続き取り組んでいるとともに、指導法について検討するために、作業部会を作り教科ごとに検討を始める。	B
	9 小テストや課題などを活用し、授業の取り組みへの意識を高めさせることができた。	9	31	5	1	46	3.04	B	・各教科担当を中心に学習への意識を高めるために細やかな取り組みを続けてきた。 ・各教科で学習への意欲、自主性を高める工夫が更に必要である。	B
	10 習熟度別授業や少人数授業では、個に応じた指導を効果的に行うことができた。	8	29	5	1	43	3.02	B	・少人数を活かし概ね良好な指導ができています。 ・少人数の利点を更に活用できるよう授業を工夫するとともに、少人数指導の成果を検討することを考える。	B
	11 授業・補習・小テストなどを通して、生徒の実情に合わせた学習指導ができた。	10	33	2	0	45	3.18	B	・各教科担当を中心に細やかに対応できた。 ・継続するとともに新しい大学入試に対応した内容を検討	A
	12 「総合的な学習の時間」を計画的に実施することができた。	17	22	4	1	44	3.25	A	・各学年で統一したテーマに基づき実施された。運営面でも組織的に取り組めた。 ・成果を上げた取り組みなので、制度化する。また、新1学年から先行実施される「総合的な探求の時間」への円滑な	A
	13 生徒が理解しやすい授業を工夫することができた。	8	31	6	0	45	3.04	B	・各教科担当を中心に細やかに対応できた。 ・継続するとともに新しい大学入試に対応した内容を検討する。	B

平成30年度 神戸鈴蘭台高等学校学校評価

4点 3点 2点 1点

A:4.0~3.25、B:3.25~2.5、C:2.5~1.75、D:1.75~1.0

評価の観点	評価項目	A	B	C	D	計	平均	評価	自己評価及び実践目標	H29評価
人間性豊かな生徒の育成	14 服装・頭髪等、望ましい身だしなみを身につけさせることができた。	13	27	5	1	46	3.13	B	・学年団を中心に適切に実施され、落ち着いた学習環境を作り出している。 ・継続していく。	B
	15 挨拶や遅刻指導等を通じて、基本的な生活習慣やマナーを身につけさせることができた。	12	27	7	0	46	3.11	B	・朝のホームルームを実施することで効果的な指導ができた。 ・今後も継続していく。	B
	16 清掃・美化活動への意識を高めることができた。	5	32	9	0	46	2.91	B	・清掃当番により、概ね取組んでいる。 ・一部十分でない箇所もあり、引き続き充実を図っていく。	B
	17 生徒会・部活動等への積極的な参加を促す工夫ができた。	13	27	6	0	46	3.15	B	・委員会等を通して活発に活動・呼びかけができた。 ・今後も継続していく。	B
	18 生徒会行事について、生徒の自主的活動の推進を図り、生徒の主体的な企画・運営による行事を活性化させることができた。	16	20	9	1	46	3.11	B	・文化祭やオープンハイスクール他中心的に取り組めた。中学校からの評価も高い。 ・今後も継続していく。	A
	19 学校行事・ホームルーム活動などを通じて、生徒に協調性や社会性・計画性を身につけさせることができた。	15	26	4	1	46	3.20	B	・生徒は熱心に取り組み、協調性や社会性を身につける良い機会となった。 ・引き続き取り組んでいく。	B
	20 学校の実情に応じた防災避難訓練の計画・実施ができた。	4	27	11	2	44	2.75	B	・避難訓練を実施できなかった。 ・地震等様々な災害状況に応じた訓練の実施とマニュアルの点検が必要である。	B
	21 人権ホームルームの充実を図り、計画的に実施することができた。	4	31	7	2	44	2.84	B	・視聴覚教材やホームルームを活用し効果的な事業ができた。	B
	22 人権に関し、充実した教育研修会を実施することができた。	4	25	10	4	43	2.67	B	・委員会により今日的課題について職員研修を持つことができた。 ・引き続き効果的な取り組みを検討していく。	B
	23 キャンパスカウンセラーなどによる研修を実施し、生徒指導等の在り方について教職員の共通理解を図ることができた。	13	24	4	3	44	3.07	B	・委員会の実施等共通理解に努めた。 ・特別支援学校のセンター的機能を活用し、講師を招いて研修会を行った。	B
24 生徒の悩みの相談に応じて適宜個人面談などを行い、生徒の内面理解に努めた。	14	28	2	2	46	3.17	B	・担任及びキャンパスカウンセラーにより適切に実施できた。 ・引き続き実施していく。	B	